

研修体系の構築・見直しの外部パートナーを見つけるためのチェックリスト

自社の課題に沿った適切な提案をしている

- 経営課題の分析から人材育成課題の特定まで一緒に考えてくれて、その内容も適切である
- 人材育成課題と紐づけた、適切な教育プログラムが提案されている
- 担当者のスキル・熱意が高く、長期間の研修運営を共に完遂できる信頼感がある

自社に必要な品質が担保できる

- 講師のファシリテーション能力が高く、受講者自身に考えさせる仕掛けを施してくれる
- 育成対象者のレベルや課題感に合わせた教材を用意できる

適切な料金である

- 費用対効果の面で、納得感のある見積もりが提示されている

研修のデリバリー能力が高い

- 研修の目的や自社の拠点を鑑み、適切なロケーション／規模の研修会場が選定・提案されている
- 希望の研修タイミングに対し、柔軟に対応してくれる（あるいは日程の選択肢が複数ある）

研修フォロー体制が整っている

- 研修開始後も適切にフォローし、柔軟に変更・対応してくれる
- オンラインなど不測の事態が起きやすい場合における、フォロー体制が整備されている
- 研修後の振り返りと今後の課題特定まで対応でき、最後までパートナーとして伴走してくれる

十分な実績がある

- 研修会社として、過去に十分な数の企業研修を企画・開催している
- 担当者が過去に複数の企業研修を企画・運用した実績を持っている